

令和 7 年度船橋市特別職報酬等審議会

第 2 回資料

令和 7 年 1 1 月 5 日 職員課

目 次

第1回報酬等審議会 各委員の意見・・・・・・・・・・	3
----------------------------	---

経営学の視点 項目別指標・・・・・・・・・・	5
------------------------	---

第1回報酬等審議会 各委員の意見

第1回目の審議会でもいただいたご意見をまとめ、「社会経済状況等の視点」「市の取組等の視点」「市民生活状況等の視点」「その他の視点」に整理させていただきました。

(1) 引き上げ

伊藤委員【市川市農業協同組合】

- 正直、市長の給料が安いという印象を持った。企業であれば業績が上がったときに給与を上げるものであり、船橋市を企業に例えれば、税収や人口が増えている現状は収益増にあたる。そう考えると、もう少し高くても良いのではないかと感じた。

【その他の視点】

- 農政分野で他市に比べて船橋市は特に協力してくれている。【市の取組等の視点】

田中委員【船橋青年会議所】

- 物価高の中で民間給与を上げていこうというトレンドにはなっているが、まずはそこから（民間給与から）上げていくべき、他にやるべきことがあるかを検討すべき。【社会経済状況等の視点】

- 今回を逃すと次の改正のタイミングは4年後になる。そう考えると多少の引上げは妥当ではないか。【その他の視点】

早川委員【船橋市自治会連合協議会】

- 市民感覚としては高額に映るかもしれないが、一般企業の報酬、これだけの人口規模を抱えていることを考えれば、むしろ低い印象。【市民生活状況等の視点】【社会経済状況等の視点】

- 長く据え置かれてきた現状を踏まえ、今回は引上げを検討して良いのではないか。【その他の視点】

- 市長は様々な地域行事にこまめに出席しており、そうしたことを考慮してよいのでは。【市の取組等の視点】

山田委員【船橋法人会】

- 人口規模や予算規模から見て市長の給与はかなり安い。【社会経済状況等の視点】

- 市は企業ではなく税金で運営されている。安いと思うが、引上げはどうなのかな、というのが正直なところ。

【市民生活状況等の視点】

- 物価も上がっており、全体のことを考えれば、割合としては小さくなくても、気持ち、上げてよいのではないか。

【社会経済状況等の視点】

山本綾委員【千葉県弁護士会京葉支部】

- （国の通知による）特別職の給与改定に際して参考とすべき項目（物価や給与改定の状況）を検討すると、上げる方向で考えるのが自然。【社会経済状況等の視点】
- 現市長だけでなく今後の市長職のことも考えると、有能で常識的な人材が、低い給与水準で市長職を敬遠してしまうことは、市民として困る。【その他の視点】

吉田委員【船橋市民生児童委員協議会】

- 前回の審議ではコロナ禍で市民生活が厳しく、据え置きと判断した。【市民生活状況等の視点】
- その後も長く据え置かれており、市長の活躍を見ていると、今回は少し上げてよいのではないか。【市の取組等の視点】

（２）据え置き

篠田委員【船橋商工会議所】

- 市長は一生懸命に職務を果たしており、上げてあげたい気持ちはある。【市の取組等の視点】
- 県内の４月から９月の企業倒産が１５０件、過去１０年間で最多であり、中小零細企業の経営環境は依然として厳しい。商店街や飲食業も苦しい、当面は現状維持でよい。【社会経済状況等の視点】【市民生活状況等の視点】

茶谷委員【連合千葉総武地域協議会】

- 物価上昇や中小企業の賃上げ傾向を踏まえると（引上げに）理解できる部分はある。【社会経済状況等の視点】
- 長としては、やはり最後に（給料等を）上げるのが筋ではないか、現時点では据え置きがよい。【その他の視点】

■ 「顧客」である市民へのサービス向上

- 市民の満足度
- 利便性の向上
- アクセシビリティ

■ (市としての)資産と業績

- 経済活力
- 財政の健全性

■ トップセールス

- 魅力の発信

■ ステークホルダーマネジメント

- 市民との協働

■ 組織マネジメント

- 職員の能力向上
- デジタル化による生産性の向上

市民の満足度

	R3	R4	R5	R6
住み続けたいと思う人の割合	85.1%	85.1%	85.5%	84.7%
住みよいまちと感じている人の割合	80.7%	85.1%	86.5%	82.9%

「住みよいまちと感じている人の割合」
平成23年度から26年度まで80%以下

アクセシビリティ

	R3	R4	R5	R6
「広報ふなばし」の閲読状況	62.6%	65.2%	63.6%	61.6%
地域情報アプリ「マチイロ」の登録者数	11,489人	14,610人	19,135人	22,712人
船橋市HPアクセス数	59,280,700回	44,503,543回	34,199,584回	31,836,768回

船橋市HPアクセス数
H29：23,282,524回
H30：23,915,144回

「住み続けたいと思う人の割合」
「住みよいまちと感じている人の割合」
「広報ふなばし」の閲読状況
「市民意識調査」より

利便性の向上①

【5年度から7年度】デジタル化・オンライン化により利便性の向上に資する事業

○キャッシュレス決済の導入【7年度】

市民の利便性の向上を図るため、各出張所・連絡所で、2次元バーコードなどのキャッシュレス決済を新たに導入

○ICTを活用した保健指導【7年度】

保健指導の利便性の向上や健康状態と取り組み結果の可視化を図ることにより、実施率を向上するため、新たにウェアラブル端末やアプリなどを導入

○粗大ごみ電話受付センター【6年度】

家庭から排出される粗大ごみ収集のインターネット受け付け・キャッシュレス決済を令和7年4月から導入するため、コールセンターの運営準備とシステムを構築

○保育ICTシステムの導入【5年度】

保護者の利便性向上及び公立保育園の事務負担軽減のため、登退園や出欠席の管理、連絡帳等をデジタル化する保育ICTシステムを導入

利便性の向上②

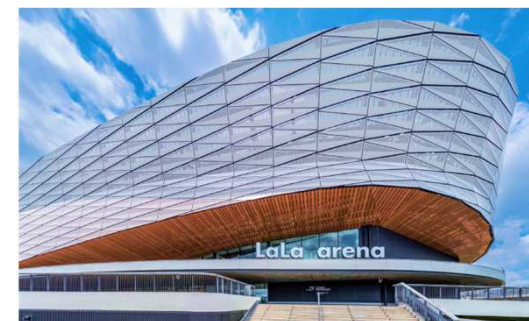
	R3	R4	R5	R6
国が定めた特に国民の利便性向上に資する 26 手続の内、オンライン化を実施した様式数	12件	26件	26件	26件
26 手続以外のオンライン申請様式数	598件	908件	1,096件	1,339件
市公式アプリ「ふなっぷ」の利用者数	13,875人	17,124人	22,210人	25,646人
各種証明書のコンビニ交付数	66,263件	99,299件	132,525件	147,823件
転出届総数のうち 転出ワンストップサービスの割合	-	13%	18%	23%

マイナンバーカード保有枚数率（船橋市）

R6.3：71.9% R7.3：77.3%

総務省HPより

経済活力①



経済活力②

	R3	R4	R5	R6
新設法人数	598社	591社	668社	630社
創業セミナー参加者数	101人	111人	112人	100人
共同ビジネスマッチングのマッチング件数	84件	81件	72件	117件
共同ビジネスマッチングの登録事業者数	1,424 事業者	1,494 事業者	1,539 事業者	1,604 事業者

「新設法人数」は帝国データバンク「新設法人調査」より

全産業の事業所数 H 2 8 15,603 (事業所) → R 3 15,194 (事業所)
従業者数 H 2 8 189,232 (人) → R 3 192,205 (人)

「ふなばしの経済」より

財政の健全性

	R3	R4	R5	R6
実質公債費比率	2.9%	3.4%	3.7%	3.6%
将来負担比率 ※マイナスは「－」	15.5%	—	—	—
総人口	645,450人	645,972人	647,597人	648,594人

魅力の発信①

札幌で 船橋のなしをPR!

和梨の消費量が少ない北海道で、「船橋のなし」の知名度を上げるため、8月22日、23日に札幌でPRイベントを行いました。船橋からは松戸徹市長や「目利き番頭 船えもん」「ふなっしー」が参加し、「船橋のなし」のおいしさを宣伝しました。

図農水産課 ☎436-2494

▶ 上田文雄札幌市長（写真左）に松戸徹船橋市長（写真右）が、梨や「ふなばし産品ブランド」を贈呈しました



◀ 札幌ドームで来場者に梨をプレゼント。2000個の梨が約30分で配布終了となりました

平成26年度

認証品のPR

市長も応援に
かけつけました!

1月12日から18日の7日間、東武百貨店船橋店の催事にて28年度に認証された工業・工芸品5製品のお披露目を行いました。今後も、市のイベントおよび百貨店での催事等で積極的にPRしていきます。



平成29年度

魅力の発信②

	R3	R4	R5	R6
観光入込客数	672,949人	830,918人	1,478,421人	1,590,963人
船橋市内で撮影等が行われた件数 (ふなロケ事業)	30件	52件	31件	25件

観光入込客数
H31 : 1,675,787人
R2 : 578,909人

「観光入込客数」は「ふなばしの経済」より

市外住民の船橋市の認知度 91.2 (%)

「船橋市新商工業戦略プラン」基礎調査報告書より

市民との協働①

令和5年度実績

市政への参画事業 47（事業）

市民が自己の意思を市の施策に反映させるために意見を述べ、又は提案する事業



協働事業 250（事業）

多様な主体同士が船橋をより魅力あるまちにするための共通の目的に向かって、お互いに対等な立場で連携・協力する事業



市民との協働②

	R3	R4	R5	R6
市民公益活動公募型支援事業 支援金交付件数	6件	7件	11件	17件
夏のボランティア体験参加者数	395人	293人	610人	508人
市民活動フェア 出展団体数	45団体	74団体	70団体	72団体
市民力発見サイト 登録団体数	561団体	561団体	544団体	463団体
市民活動サポートセンター 延べ利用団体数	1,531団体	2,528団体	2,915団体	3,141団体

職員の能力向上①

生成AIアドバイザーによる市職員向け研修を開催
～DX推進に向けて職員の生成AI活用スキル向上を図ります～

船橋市は、市職員の生成AIに対する理解を深めるとともに、日常業務で生成AIを活用するための知識やスキルを身に付けることを目的として、一般職員向けに「生成AI研修」を開催します。テーマは「生成AIの教科書」と題し、ワークショップを交えながら、生成AIの基礎を学びます。

市では、令和5年7月に「船橋市生成AIの利用に係る運用指針」を策定し、文書や表の作成、文章の要約など、生成AI技術の試行運用を開始し、業務の効率化と行政サービスの質の向上を図るための取り組みを進めてきました。

本研修の講師は、今年8月、県内初の生成AIアドバイザーとして就任した船橋市出身の小澤 健祐氏が務めます。小澤氏は、市の技術革新における推進役を担っており、同月、管理職向けの研修を行い生成AI活用の理解を深めました。今回の研修で、生成AI技術を用いて課題解決ができる人材を育成し、さらなる技術の活用を推進します。

《研修の概要》

日時：令和6（2024）年10月9日（水）14:30～16:45

場所：船橋市役所本庁舎 11階 大会議室

対象：一般職員

内容：ワークショップを交えて生成AIの基礎を学ぶ

■小澤 健祐氏



人工知能技術、特に生成AIの分野で豊富な経験を有し、AI専門メディアAINOWの編集長を務める。288ページの原稿の約70パーセントを生成AI「ChatGPT」で執筆した「生成AI導入の教科書」の著者であり、一般社団法人生成AI活用普及協会協議員等、AIに関する領域で幅広く活動し、多数の登壇、講演の経験を持つ。



1 デジタルツールのスキルが身につく！

以下ツールの実践スキルが身につきます。

- 生成AI … 万能テキスト生成ツール
- kintone … ノーコードアプリ作成ツール
- Canva … デザイン作成ツール

このポスターもCanvaにより素案を30分で作成！

2 最新ツールのテスターになれる！

デジタル行政推進課で今後導入を検討する最新ツールについてテスターとして先行利用することができます。

3 相談する仲間ができる！

DX推進リーダー専用のコミュニティを用意するので、仕事で悩んだ時に相談できる仲間ができます。

職員の能力向上②

	R3	R4	R5	R6
職員研修 修了者数（人材育成室）	2,440人	2,542人	3,436人	3,786人
D Xに係る職員研修 修了者数	-	-	52人	110人
eラーニング実施回数	12回	15回	26回	29回

デジタル化による生産性の向上

	R3	R4	R5	R6
文書管理システムにおける起案文書の内、電子決裁化した文書の割合	-	55.0%	60.5%	61.7%
テレワーク専用P Cの利用状況	2,370台	3,244台	4,792台	7,684台
Web 会議の開催（主催）数	-	1,880回	1,796回	2,321回
RPA を用いて削減できた時間数	6,615時間	7,552時間	6,206時間	5,640時間